

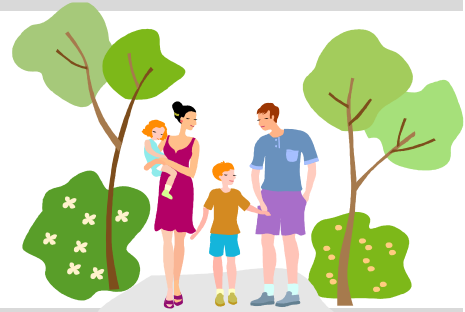
緑化面積の算定方法のてびき

「鳥取市景観計画」では、良好な景観の形成のための制限として、敷地内を緑化するよう義務付けています。特に建築物の建築行為、工作物の建設行為等では、敷地面積（建築物の建築面積及び工作物の築造面積を除く。）の3%以上を緑化することとしています。

この「てびき」では、緑化面積の算定方法の基準を解説しています。

※※目次※※

1. 用語の定義
2. 緑化面積の算定基準
3. 緑化計画の留意点
4. 緑化面積・緑化率の算定表



1. 用語の定義

- (1)樹木 高木・中木・低木等の植物（タケ類も含む）
- (2)高木 成木時に樹高が3 m以上となる樹木
- (3)中木 成木時に樹高が1 m以上3 m未満となる樹木
- (4)低木 成木時に樹高が0.2 m以上1 m未満となる樹木
- (5)樹冠 樹木の上部についている枝と葉の集まり
- (6)地被植物 芝、コケ、ツル等の地面を面的に覆う植物
- (7)棚もの フジ棚、ブドウ棚、ヘチマ棚など、棚状（アーチ状含む）に植物を仕立てるもの

2. 緑化面積の算定基準

緑化面積は、下記の表1, 2の区分に応じ算出した面積の合計による。

表1

区分		緑化面積 算定基準	備考	加算 係数
単独の樹木 による緑化	高木	10 m ² / 1 本	・成木時の樹冠投影面積でもよい。 ・既存の場合、実測した樹冠幅により算出してよい。	/
	中木	3 m ² / 1 本	・成木時の樹冠投影面積でもよい。 ・既存の場合、実測した樹冠幅により算出してよい。	
	低木	1 m ² / 1 本	・成木時の樹冠投影面積でもよい。 ・既存の場合、実測した樹冠幅により算出してよい。	
	生垣	延長 × 幅	葉が触れ合う程度に列植していること。	1.5
専ら緑化のために区画した土地の部分		区画した土地の水平投影面積	・縁石等で区画し、中高木、低木、地被植物等により植栽されている部分。 ・区画内を一体的に植栽していること。	/
地被植物による緑化		水平投影面積		/
花壇等		水平投影面積	花壇内法寸法	/

表2 特例として緑化面積に算入するもの

区分	緑化面積 算定基準	備考	加算 係数
柵もの	水平投影面積		
壁面の緑化	延長 × 1m	・ 道路等から視認可能であること。 ・ 既存の場合は実測でもよい。	
屋上の緑化	水平投影面積	道路等から視認可能であること。	
フェンス等の緑化	延長 × 0.5m	・ 道路等から視認可能であること。 ・ 既存の場合は実測でもよい。	
プランター等での緑化	水平投影面積	容易に移動できず、恒常的に設置するものに限る。	

加算係数は、接道部分、また設備等の遮へいのため等、良好な景観上、効果的に植樹した場合に緑化面積にかけることができます。(協議してください。)

3 . 緑化計画の留意点

- (1) 中高木と低木の樹冠投影面積、また樹木の樹冠投影面積と地被植物の水平投影面積等が重なる場合は、重複して算出することはできません。
- (2) 届出書の「行為の内容」欄の「敷地の緑化」に緑化面積・緑化率を記入してください。
- (3) 添付図書の配置図について。
 - a . 樹木等の位置、種類、高さ及び本数を記入してください。
 - b . 新規・既存がわかるようにしてください。
- (4) 外構工事が伴わない建築行為等の場合、保存する樹木で緑化面積を算定してください。
- (5) 高・中・低木における緑化面積の算定基準は、みなし面積です。成木時の樹冠投影面積がわかる場合はそちらを採用してください。
- (6) 特例として緑化面積に算入できるかどうかは、協議してください。



4 . 緑化面積・緑化率の算定表

下記表により、緑化面積、緑化率を算定してください。

高木	種類	数量		算定基準面積		緑化面積
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
	小計					
中木	種類	数量		算定基準面積		緑化面積
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
	小計					
低木	種類	数量		算定基準面積		緑化面積
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
	小計					
生垣	種類	延長		幅		緑化面積
		m	×	m	=	m ²
		m	×	m	=	m ²
		m	×	m	=	m ²
	小計 (有効な場合は加算係数をかける)					
区画・地被等	区分	方法				水平投影面積
						m ²
						m ²
						m ²
	小計					
その他	区分	方法				面積
						m ²
						m ²
						m ²
	小計					

緑化面積合計						m ²
基準敷地面積 ()	敷地面積		建築面積等			m ²
	m ²	-	m ²	=		
緑化率	$\frac{\text{緑化面積合計}}{\text{基準敷地面積}} \times 100$				=	%

基準敷地面積は、建築物の建築面積、工作物の築造面積を除いた面積です。

記入参考例です。

高木	種類	数量		算定基準面積		緑化面積
	イチョウ	1 本	×	10 m ²	=	10 m ²
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
小計						1 m ²
中木	種類	数量		算定基準面積		緑化面積
	サザンカ	3 本	×	3 m ²	=	9 m ²
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
小計						9 m ²
低木	種類	数量		算定基準面積		緑化面積
	ツツジ	5 本	×	1 m ²	=	5 m ²
		本	×	m ²	=	m ²
		本	×	m ²	=	m ²
小計						5 m ²
生垣	種類	延長		幅		緑化面積
	ドウダンツツジ	10 m	×	0.5 m	=	5 m ²
		m	×	m	=	m ²
		m	×	m	=	m ²
小計 (有効な場合は加算係数 1.5 をかける)						5 m ²
区画・地被等	区分	方法				水平投影面積
	花壇	草花のベタ植				10 m ²
						m ²
						m ²
小計						10 m ²
その他	区分	方法				面積
	柵もの	フジ柵				10 m ²
						m ²
						m ²
小計						10 m ²

緑化面積合計						40 m ²
基準敷地面積 ()	敷地面積		建築面積等			200 m ²
	300 m ²	-	100 m ²	=		
緑化率	$\frac{\text{緑化面積合計}}{\text{基準敷地面積}} \times 100 =$				20 %	

基準敷地面積は、建築物の建築面積、工作物の築造面積を除いた面積です。